

サッカーにおけるシュートに関する研究

～2011-12 Liga Espanola の FC バルセロナに着目して～

奥村 勝也 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)

指導教員 望月 聡

キーワード：ゴール, シュート位置, エリア

1. 緒言

近年, サッカー界で最も注目を浴びているクラブチームの一つがスペインの FC バルセロナ (以下 FCB) である (西部謙司, 2011). FCB のサッカーはポゼッションフットボールであり, 流れるようなパスワークで強固なディフェンス (以下 DF) を崩しゴールを決めるという攻撃的サッカーである.

私は今回 FCB の攻撃的サッカーに魅了され今 FCB がどのようにして相手 DF を崩し得点に結びつけているのかに興味を持った.

そこで本研究では, 昨シーズンのリーガ・エスパニョーラで生まれた FCB の全 107 ゴールに着目し, 最も多かったシュート位置から攻撃パターンを明らかにすることを目的とする.

2. 研究方法

昨シーズンの FCB の試合 (リーガ・エスパニョーラのみ) の全 38 試合を分析対象とした. サッカーコートを 5 つのエリアに分け, 最も多かったシュート位置を調べた. シュートは得点が決まったシュートのみとし, 得点が決まるまでの過程を分析し, 攻撃パターンを調査した.

3. 結果と考察

最も得点が多く生まれた位置は, ペナルティエリア内で 97 本だった. その内 10 本は, ペナルティキックだった. このことから, FCB は相手が

最も密集しているゴール前まで完璧に崩し得点を決めていることがわかった. またクロスボールからの得点が 87 本中 10 本に対し, バイタルエリア, 中央エリアでのスルーパスからの得点が 23 本と約倍の本数となり, FCB の攻撃はサイド攻撃よりも中央突破が多いと考えられた.

4. まとめ

本研究で, FCB は素早く細かいパスワークで相手 DF を完璧に崩し, ペナルティエリア内まで侵入し得点を決めるという, FCB 独自のサッカースタイルを徹底していることがわかった. FCB の選手は, 他チームに比べて体格に恵まれていないため, 相手が守備の陣形をつくる前に素早いパスワークで崩していることが明らかになった.

引用・参考文献

Alberr Puig Ortoneda (訳) 井上知 (2011) FC バルセロナの人材育成術, 株式会社ケーコム.

西部謙司 (2011) バルセロナ戦術アナライズ, 株式会社シナノ.

Oscar Pedro Cano Moreno (訳) 羽中田昌 (2011) バルセロナが最強なのは必然である. 株式会社シナノ.

WOWOW (2011-12) リーガ・エスパニョーラ, FC バルセロナ試合第 1 節～第 38 節.